

# はじめに

人生 100 年時代に、年齢を問わず全ての国民に活躍の場があり、全ての人々が元気に活躍し安心して暮らすことのできる社会が望まれる中、高齢者がその能力に応じ、自立した生活を送るための取り組みがますます重要となっています。

そのため国は、令和 22 年（2040 年）に向けて「現役世代人口の急減」という重要課題に対応しながら、「介護予防・地域づくりの推進」「地域包括ケアシステムの推進」「介護現場の革新」に取り組み、地域共生社会の実現を目標としています。

令和 7 年（2025 年）には団塊の世代が 75 歳に到達いたします。

本市におきまして、令和 10 年（2028 年）頃に後期高齢者人口は一度ピークに達し、その後は一時的に減少しますが、団塊ジュニア世代が後期高齢者となる令和 22 年（2040 年）以後に再びピークを迎える見込みです。また同時期から、65 歳以上の高齢者人口も最も多くなります。

一方、現在は高齢者 1 人を現役世代 2.1 人で支えている状況ですが、世代間の支え合いは、生産年齢人口の減少により、今後、現役世代 1.5 人で支えていかなければならないと予測されています。

要介護認定者や認知症高齢者等の増加に対応したサービス提供の担い手不足が懸念される中、元気な高齢者が担い手として活躍するなど、高齢者の社会参加を促していくことで、生きがいや介護予防につなげ、地域の中で支え合いながら暮らすことができるまちづくりが今後ますます重要になります。

本計画では、多様化・複雑化する課題に対応するため 5 つの目標を定め、「共生」と「予防」を両輪とした認知症対策や、最後まで自分らしく暮らすための介護予防・健康づくり、地域で安心して暮らすためのサポート体制など、高齢者施策のさらなる充実を図り、「高齢者一人ひとりが、自らの意思に基づき安心して住み慣れた地域で、いきいき・健やかに過ごせるまち」を目指して参ります。

計画の推進に向け、地域、事業者、関係機関の皆様のご理解・ご協力を心よりお願い申し上げますとともに、策定にあたり貴重なご意見やご提言をいただきました市民・関係団体の皆様に、心から厚くお礼申し上げます。

令和 3 年 3 月

交野市長 黒田 実

